

戦国時代を
生きた
ヒロイン

お市の方の娘 お江

かつての北国街道沿いの商店街。北国街道は、勝家公、系守城、築城の北、左、城の外側に位置し、お江もこの道を歩いたかもしれません。

4 呉服町通り



さくら通り

車馬倉庫が成りた後、勝家公が一乗谷の時人たちが城下に住みかたした町です。町名は一乗谷から由来しています。

5 一乗町石段



福井城にあった北外堀の門の一つ。古くは「江戸町口御門」とも呼ばれていました。現在の宝永3(1726)あたりを江戸町といひ、お江の娘、勝家公が本平忠直公に嫁ぐのにあわせ江戸から勝家公と共に来た侍たちが住んだことから江戸町と呼ばれました。



中央大通り

勝家公が架けたと言われる、北国街道が足羽川を渡る橋。当時、足羽川に架かる唯一の橋で、お江もこの橋をわたって北庄に入ったと考えられます。

3 九十九橋



2 西光寺・柴田勝家公資料館

勝家公の菩提寺。勝家公とお市の方の墓があり、勝家公所蔵といふ云々も発見されます。

響のホール

10歳のお江が姉たちと遊んだらう北庄城。現在は、お江の養女にあたる柴田勝家公を祀る神社になっています。境内には、茶々・お初・お江の三姉妹を祀る三姉妹神社と勝家公と母のお市の方の金同像も。

柴田神社・北庄城址公園資料館



お江(ごう)

お江は、柴田勝家の妻のお市の方、勝家に嫁ぐ前の夫だった浅井長政との間にもらった3姉妹の末っ子です。母・お市の方の兄である織田信長に浅井氏から嫁ばされ、お市の方や姉とともに織田家に引き取られます。信長が亡くなると、今度北の左の柴田勝家に嫁いだ母のお市の方とともに、羊年余りを北の左で暮らします。成人後、徳川家康の三男、のち2代将軍となる徳川秀忠に嫁ぎ、3代将軍となる徳川家光をはじめ2男5女をもうけます。そのうちの1人、三女の勝家公は福井藩第2代藩主・松平忠直の正室に。色世の美女といわれた母・お市の方の美貌を受け継いだ美女といわれたお江にとって、福井は母のお市の方と同様に、つながりも深いのです。

